

## 日本刑法学会九州部会第 135 回例会開催のお知らせ

九州部会事務局

日本刑法学会九州部会第 135 回例会を下記の要領で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【日時】 2025 年 3 月 1 日（土） 13：30～17：00

【場所】 鹿児島大学郡元キャンパス 法文棟 1 号館 101 教室

※キャンパスマップ：

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/addd65b967793657d0e66741f2a599683169d2c4.pdf>

### 【実施要項】

#### 研究報告①（13：35～15：05）

平尾遼海会員（九州大学大学院法学研究院助教）

「犯罪論における心情要素の体系的 position について」

参考文献

- ・ 平尾遼海「犯罪論における心情要素の体系的 position について（1～2）」九大法学 123 号（2023 年）1 頁以下、124 号（2024 年）1 頁以下。

#### 研究報告②（15：15～16：45）

寺本奈津樹会員（九州看護福祉大学基礎・教養教育センター専任講師）

「イギリス捜査手続における少年の法的助言を受ける権利—『適切な大人（Appropriate Adult）』による援助の影響—」

参考文献

- ・ Miranda Bevan, 'Young Suspect Perspectives: An Exploration of the Factors Affecting the Uptake of Legal Advice by Children in Police Custody', [2020] *Criminal Law Review*, Issue 8, (2020), at 686-706.
- ・ Miranda Bevan, *Children in Police Custody: Adversity and Adversariality Behind Closed Doors*, (Oxford University Press, 2024).
- ・ Vicky Kemp and Jacqueline Hodgson, 'Chapter 4 England and Wales: Empirical Findings', in Miet Vanderhallen, Marc van Oosterhout, Michele Panzavolta and Dorris de Vocht (Eds.), *Interrogating Young Suspects: Procedural Safeguards from an Empirical Perspective*, (intersentia, 2016).
- ・ 京明『要支援被疑者（vulnerable suspects）の供述の自由』（関西学院大学出版会、2013

年)。

- ・ 寺本奈津樹「少年の取調べにおける少年の手續参加——イギリス捜査手續における弁護人による法的援助及び『適切な大人 (Appropriate Adult)』による援助の議論を中心に——」(一橋大学大学院法学研究科提出博士学位論文、2023年3月)。
- ・ 寺本奈津樹「イギリス少年取調べにおける『適切な大人 (Appropriate Adult)』による援助(1)——近年の動向に焦点を当てて——」一橋法学 22巻3号(2023年)391-425頁。
- ・ 寺本奈津樹「イギリス少年取調べにおける『適切な大人 (Appropriate Adult)』による援助(2・完)——近年の動向に焦点を当てて——」一橋法学 23巻1号(2024年)223-260頁。

#### 諸連絡 (16:45~17:00)

当例会に出席される先生方は、2月17日(月)までに、下記 Google Form よりご回答願います。

<https://forms.gle/2xWay1TvDnWwQ5tX8>

ただし、下記に該当する方は、事務局の寺嶋まで直接ご連絡ください(上記フォームの説明に連絡先を記載しております)。

- ・ 2月18日以降に出席の連絡を行う方。
- ・ 日本刑法学会の会員でない刑事法研究者(大学院生を含む)または刑事司法関係の実務家の方で、オブザーバーとして参加を希望される方。